



3月 としょかんだより

よしだにししょうがっこうとしょしつ 吉田西小学校図書室 令和2年3月号

みなさんはこの一年間どんな本を読みましたか？読書の達人になれたでしょうか？どくしょビンゴに挑戦して、学年ごとのおすすめの本やいろいろな分類の本を読むことができた人もたくさんいましたね。これからも読書を楽しんで、皆さんがもっと本を好きになってくれることを願っています。



どくしょビンゴの木は、クリアした人のはっぱでいっぱいになりました！！



としょしつ 図書室をたくさん利用してくれてありがとう



こんねんど としょ かしたしごうけいすう 今年度の図書の出合計数は 2844冊 でした。

一人あたり36～37冊かりたことになります。

らいねんど としょしつ 来年度もまた図書室をたくさん利用してくださいね。



保護者の皆様へ

「親子読書」を一年間実施してきましたが、どうだったでしょうか？

好きな本にめぐり合うことは幸せなことです。どんな本が好きなかなあと親子で一緒に本を選ぶことも楽しいですよ。読んであげることはもちろん、おうちの方が「こんな話でね…おもしろいよ」と話すことも、読んでみようかなと子どもたちが本を手にとるきっかけになります。図書室でもブックトークなどで内容を少し紹介すると読んでみようとしてくれる子が多かったです。児童書や絵本を大人になってから読んでみると感じるおもしろさもありますよ。南河内図書館なども親子で利用し、これからはぜひ一緒に読書を楽しんでください。

今年度最後のまちがい探し！！



森の中へとげこんだ白雪姫は、そこで出会った7人の小人たちと楽しく毎日を過ごしています。下の2枚のイラストには5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



「親子読書」おすすめの一冊



「どんなかんじかなあ」中山千夏 自由国民社

友だちのまりちゃんは目が見えない。さのくんは耳が聞こえない。それってどんな感じかなあ…と思う主人公ひろくんが気づくこと。それってどんなかんじなのかなと親子と一緒に話をするきっかけにおすすめの本です。

「いのちのおはなし」日野原重明 講談社

95歳で現役のお医者さんだった日野原先生が小学生に命についてのお話をします。「いのちは時間、これから生きていく時間がいのちなんだよ。いのちを大事にするということは…。」

本と一緒に読んで、いのちについて親子で話してみませんか？

小学校図書館ニュース付録

2020年2月28日号「白雪姫」より

答えは図書室カウンター前にあります。見に来てね。